Gemini 4 Neonの概要と知財実務への活用戦略

Googleが発表した「Gemini 4 Neon」は、最上位モデルに迫る処理能力を低単価で提供するバランス型AIモデルです。
約100万トークンの長文脈処理を活かした特許文献の解釈や分析に強い一方、実務導入にはデータガバナンスや弁理士法への配慮が不可欠です。

Gemini 4 Neonの性能と位置づけ



高いコスパと推論性能

最上位の4割弱の単価で
上位級性能。



100万トークンの長文脈

公報50件規模の
一括読解が可能。



エージェント連携機能

文書取得や一次
スクリーニングに対応。

主要モデルの単価比較

Gemini 4 Neon	入力: $3.00 (1M token)	出力: $15.00 (1M token)
Fable 5.2 / Astra	入力: $8.00 (1M token)	出力: $40.00 (1M token)
Gemini 4 Hydrogen	入力: $1.50 (1M token)	出力: $7.50 (1M token)

知財実務での活用指針と留意点



読解・分析への特化運用

母集団作成は既存DB、読解に活用。



人による最終判断の必修化

弁理士法遵守と原本照合を徹底。



機密保持とデータ管理

未公開発明は有料API等で保護。

Gemini Notebook